

福祉の ひろば

2022.2

66

発行者／社会福祉法人 青森県社会福祉協議会
会長 高杉 金之助
〒030-0822 青森市中央三丁目20番30号
県民福祉プラザ2階
TEL:017(723)1391 FAX:017(723)1394
E-mail fukushi-net-aomori@aosyakyō.or.jp
県社協ウェブサイトでも「福祉のひろば」がご覧
いただけます。
URL <http://www.aosyakyō.or.jp/>
印刷／青森コロニー印刷

特集 福祉・保育の職場で働いてみませんか?

_____	2
ボランティア活動情報 _____	4
スポットライト _____	5
発信! 県社協 _____	6
ふくしワークLINE _____	7
県社協から _____	8

特集

福祉・保育の職場で働いてみませんか?



防災体験で段ボールベッド組み立て中。まもなく完成!
関連記事 4P 「ボランティア活動情報: 横浜町防災体験」



福祉・保育の職場で働いてみませんか？

福祉の仕事って？



福祉の仕事って？

福祉の仕事といっても、その種類はさまざまで「公的な福祉サービス」のほか、高齢者や児童などの対象者を直接支援する「対人援助サービス」と呼ばれる仕事があります。(表1)

(表1) 対人援助サービスの4つの対象・分野

高齢者
障害児・者 (身体障害児・者、知的障害児・者、精神障害者)
児童
その他生活困窮者等 (低所得者、ひとり親家庭その他)

専門の知識や資格を必要とする仕事もありますが、それらがなくても活躍できる職場が数多くあることも福祉の仕事の特徴です。

また、「対人援助サービス」には大きく6系統の仕事・職種があり、自分に合った仕事を選んで福祉の職場で働くことができます(表2)。

(表2) 対人援助サービスの6系統の仕事・職種

介護(ケアワーク)の仕事
保育の仕事
相談援助の仕事
看護、リハビリテーション関係の仕事
栄養・調理関係の仕事
運営・管理関係の仕事

成長できる！

高齢者施設では、長い人生を歩んだ方から経験豊富な人生観などを学び、児童施設では子どもたちの成長を通じて、職員自身も成長できます。

スキルアップできる！

多くの福祉施設ではキャリアに応じた研修の受講や仕事上で必要な資格を取得することができます。

働きながら学びを通して自身のスキルを磨けます。

感謝される！

福祉職を担う職員は利用者や家族から感謝される機会が多く、日々やりがいを感じながら仕事ができます。

福祉の仕事は魅力いっぱい！

福祉の仕事には魅力がたくさんあります。その一部を紹介します。

休みが取りやすい！

福祉の職場はシフト制で休みを希望できるところが多く、休暇を効果的に取得できます。

チームで働く！

利用者や家族を支援するため、様々な職種の職員がチーム一丸となって働きます。職員間で相談もでき仕事上の不安が解消できます。

働き方が選べる！

短時間勤務や週3日勤務など、さまざまな勤務形態を取り入れている福祉施設もあり、自身にあった働き方が選べます。



コロナ禍で仕事を失う方がいる一方、福祉の職場では慢性的な人手不足に加え、クラスト対策等に人手が必要となり、多くの求人が出されています。今回の特集では、これまで福祉の仕事に携わったことのない方にも福祉の仕事を知ってもらえるよう、他業種から福祉職に転職した方へのインタビューを交えて、その魅力をお伝えします。



福祉の仕事の探し方

福祉の仕事の求人は、ハローワークでも取り扱いますが、福祉・保育の求人には特化して就職支援を行う機関もあります。県社協には「青森県福祉人材センター」と「青森県保育士・保育所支援センター」が設置されています。

両センターは、国が認めた公的な無料職業紹介機関で、福祉・保育の仕事に就きたい人の希望に合わせ、求人を紹介するほか、福祉・保育施設の見学調整、資格取得を目指す方の相談に応じるなど、求職者へきめ細かな支援を行っています。

福祉・保育の仕事を探したい方は、センターに求職登録することで就職支援を活用できますので、ぜひ登録してみてください。

求職登録はこちらから

FUKUSHI-JOB SEARCH
福祉のお仕事

電話：017-777-0012



青森県
保育士人材バンク

電話：017-718-2225

他業種から福祉職に転職した方へのインタビュー！

以前他業種に勤めていて福祉職へ転職した経験のある方に、福祉の仕事の魅力をお聞きしました。



青森県
福祉人材センター
マスコットの
「ふくふく」です！

保育士として働くAさん

(30代女性・前職 教育関係)



Q1 保育士を目指したきっかけは？

自分が出産・育児をしていく中で出会った助産師さん、保育士さんの影響が大きいです。たくさん支えてもらったことで、仕事を始めるなら子どもを通して保護者ともしっかりと繋がることのできるお仕事にチャレンジしようと思いました。

Q2 保育士試験の勉強はどうしていましたか？

ほぼ一人で育児をしていたので、勉強時間の確保に苦労しました。早朝家族が寝ている間の家事の合間や子どもの昼寝中等、毎日短い隙間時間を見つけて勉強しました。じっくり時間をとって勉強するのが難しかったため、一問一答や模試、学科講義もeラーニングを利用しました。

試験の学習範囲は膨大なので、ライフスタイルや自分の性格に応じて学習方法をしっかり検討してから学習に取り掛かることをお勧めします。

Q3 保育士として働いて感じたことは？

子ども達、同僚の先生方、保護者と「子ども達の成長の瞬間・過程」をとともに喜ぶことが何よりの魅力的な仕事だと思います。実際とても忙しく、業務の幅も広い仕事ですが、やはり子ども達の笑顔に支えられています。

Q4 読者に伝えたいことは？

私自身保育経験もなく、ピアノもとても苦手ですが、現場にいれば、子ども達のために自分にもできることがたくさんありました。いろんな先生がいていいし、少しずつ子ども達と共に成長していければいいと思っています。保育の現場には、たくさんのかわいい子ども達が待っています。少しでも保育の仕事に興味のある人はぜひ一歩踏み出してほしいです。

介護施設で働くBさん

(40代男性・前職 出版関係)



Q1 福祉職を目指したきっかけは？

前職は都内で雑誌の作成に携わる仕事をしていました。広く浅い人間関係に疲れてしまい、働き方にも馴染めず、生活リズムと体調を崩して退職しました。その後、学生時代の実習等で楽しい思い出のあった福祉の道を歩もうと、地元である青森県に戻り、現在の職場に就職しました。

Q2 福祉職で感じたことは？

利用者の身体面・精神面において、現状を維持するためのサポートが目的の一つで、向上させることが目標の一つであると心に留めながら、日々の業務を行っています。

利用者が一人で行うことが難しい部分を適切にフォローすることで、徐々に自立した動作に近づき、利用者と共に達成感や大きな喜びを感じることができます。また、日々の業務でも利用者やご家族から、感謝の言葉や笑顔をいただく機会も多く「誰かの為に役立つ仕事」という実感を得ることができます。

Q3 読者に伝えたいことは？

介護の仕事はハードな業務に追われ、大変な職業のイメージが先行していると思いますが、実際の現場では利用者と「楽しい時間を一緒に過ごす」ことも必要な業務となっており、穏やかにのんびりと過ごす時間もたくさんあります。

楽しく時間を過ごすことが仕事なんて、珍しい職業だと思いませんか？ボランティアの受け入れを行っている施設もたくさんあると思いますので、ボランティア活動を通して、介護の現場に一度触れてみてほしいです。

福祉・保育の
職場で
お待ちしております！



このように、福祉の職場にはたくさんの魅力があり、実際に他業種から転職してくる方もいます。また県社協では、右記のような求職サポート、福祉職場の体験や就職準備にかかる費用等に関するサポートも行っています。福祉・保育に少しでも興味・関心がある方は、ぜひとも体験等を通じて福祉・保育にふれてみてください。

福祉職向けサポートが
気になる方は県社協HP
「福祉ネットあおもり」
をチェック！



他業種から福祉の仕事に就職した方向けに「就職支援金貸付制度」を実施中！

他業種から介護分野や障害福祉分野へ就職あるいは内定が決まった人を対象に、就職の準備にかかる費用として最大20万円の貸付を行っています。(2年間の就労で返還不要)

【問合先】総務課
電話：017-723-1391



地域における福祉学習事業 横浜町防災体験

力を合わせ乗り越える

約10年前の平成24年2月、下北半島を縦断する国道279号で、大雪により400台を超える車両が19時間以上立ち往生する事態が発生しました。横浜町に自衛隊が派遣され、

行政や地域住民が立ち往生しているドライバーに対し、食料や避難場所を提供するなどの支援が行われました。このように、災害はいつ発生するか予測できず、日頃から「災害への備え」を継続することが必要です。

そこで、様々な災害による被害を軽減し、防災に対する知識の向上や関係機関との連携を強化することを目的として、横浜町社協主催で令和3年11月30日、菜の花にここセンター（以後センター）を会場に「横浜町防災体験」が開催されました。

施設見学で安心を実感

参加者はセンター内の陽圧化装置と防災倉庫を見学しました。陽圧化装置とは、屋外の空気が屋内へ侵入することを防ぎ、建物内の空気を正常に保つ装置です。空気を取り入れる際はフィルターを通してホコリや放射性物質等の大部分が除去できるため、近隣に原子力発電所がある横浜町でも、万が一の際、安心してセンターに避難できます。この装置を建物に後付けしている市町村もあり

ますが、最初から建物内に設置したのは全国でも横浜町が初めてです。

また、防災倉庫見学時には横浜町行政職員から「センターには飲食料、生活用品が備蓄しており、発電機も屋上に設置されている。横浜町の人口は約4千人超だが、すぐに避難行動がとれない方々300人程が約3日間避難することができ。町内近辺で大規模災害が発生した場合、は弘前市に避難することとなっているが、近隣の要配慮者がいれば、センターを利用してほしい」と説明がありました。参加者からは「過去の防災訓練でも弘前市まで行ったが、要配慮者についてはすぐに避難できない。300人も避難できれば町内の要配慮者は十分避難できて安心だ」との感想もありました。



防災倉庫には様々な食料等が保管され、種類も豊富

寄り添う心で災害を乗り越える

施設見学後には、段ボールベッドの作成体験や、多言語（英語・中国語等）へ翻訳できる拡声器、防災食等の説明があり、参加者同士協力しながら体験に取り組みました。

体験後には講演があり、講師の菅原清香氏は「災害時は自助・互助だけでなく、NPO・NGO、ボランティア等の『共助』、行政や自衛隊、消防などの『公助』等、多くの支援に頼る必要がある。『自助』のできる限界があるからこそ、様々な方々と力を合わせ、被災者支援者共に寄り添い、乗り越えていく必要がある」と話しました。



くらしの学びサポートオフィス HumanBeing代表 菅原清香氏

センター開設が昨年4月であったため、初めてセンター内を見たという方や、どのような施設か知らなかったという方も多く、「横浜町で災害が発生しても安心だと感じた一方、更に気が引き締まった」と話す参加者もいました。過去の大雪災害を教訓に「寄り添う心」を大切にしつつ、災害に備えることを改めて考える防災体験となりました。

お部屋 病院 オフィス ホテル ホール 等の

臭い が気になる!!

感染 が心配!!

カビ が気になる!!

そんなときには

デルフィーノは接触感染により発症するリスクが高い感染症のウイルスや菌を分解・除去します!

クリアな快適空間へ

抗菌・防臭・抗ウイルス
デルフィーノコーティング

スマート介護なら何でも揃う!

スマート介護

介護・福祉施設向けデリバリーサービス

コスト&手間の軽減で
業務効率UP!

充実の商品
ラインナップでサポート
約20,000アイテム

介護施設で働くすべての皆さまをお手伝い!

お届けしたいのは
期待を超える価値と笑顔です

株式会社ヒグチ

青森市問屋町一丁目 15-22 ☎017-738-3661
八戸市下長 四丁目 5-4 ☎0178-38-8411



スポットライト

行政機関で働きながら弘前市聴覚障害者協会事務局長、(一社)青森県ろうあ協会理事、同協会青年部部長を務め、様々な立場で日々奮闘する
 外崎真妙子さん
 にスポットライト!



手話を覚えたきっかけ

小学校入学頃から聴力低下が始まり、小学4年生から補聴器をつけました。聾学校へ通わず、耳の聞こえない方と一緒に授業を受ける「インテグレーション教育」であったため、高校卒業までは教室の一番前に座り、先生の口元を見て授業を受けていました。大学ではボランティアの学生が隣に座り、筆記通訳のサポートをしてくれました。

大学在籍時に参加した「全日本ろう学生懇談会」で耳の聞こえない友達ができることがきっかけで、「手話の世界に入りたい」と思い、手話を覚えました。今では生活になくてはならないものになっています。

普段の生活で大切にしていること

「聞こえない」ということは、見た目だけではわからない障害であり、アイデンティティです。それを受け入れることができたのは、聞こえない仲間達と出会い、コミュニケーションを重ねてきたおかげです。聞こえる人に囲まれた生活を送ってきて、「周りと同じようにできなければ」と思ってしまうことがあったため、受け入れるまでには時間がかかりました。



手話言語講座や研修等の場で講演をする外崎さん

スマートフォンの普及や、コロナ禍でのマスクの着用等により難しいこともありますが、顔を合わせて話し、相手の様々な想いに気付けることを大切にしています。側面だけでは判断せず、「この人の背景にはどんな想いがあるのだろう」と、いつも考えています。

今後の活動について

青森県ろうあ協会は、全体で約250人の会員がおり、青年部は、約10人の部員で構成されていますが、若い世代の会員がもっと増えてほしいと思っています。

青年部は、前部長が退任の際、人数不足で存続の危機に陥りましたが、少しでも自分に何かできることがあればとの思いで部長を引き受け、研修や交流の場づくり等の活動をしています。若い人の中にも耳が聞こえないことで悩み、孤立している人がいるかもしれません。そのような人達が本協会青年部に入室することで、友好関係を築くお手伝いできればうれしいです。



会員・部員募集中です！
各種SNSも開設中！

何か大きなことができるとは思っていません。自分と仲間、家族を大切に、その延長線上にみんなが暮らしやすい社会が実現すると良いなと思っています。

【問合せ先】

(一社)青森県ろうあ協会 青年部 事務局
 FAX 017-1728-2273

がんを含む
病気やケガの備えに
NEW

NEW/医療保険
EVER Prime

No.1 がん保険
医療保険
保有契約件数
令和元年版 インシュアランス生命保険統計号
約4世帯に1世帯がアフラックの保険に加入
(詳細はホームページをご確認ください)

契約年齢
0歳~
満85歳まで
※ご契約内容により異なります。

心配な「がん」の備えに

アフラックの
生きるためのがん保険
ALL-in

◎商品の詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。
 (募集代理店) (アフラックは代理店制度を採用しています)

株式会社RAB企画 ☎0120-55-7064 ☎017-739-3598
 〒030-0113 青森市第二問屋町3丁目2-35

- アフラックサービスショップ青森柳町店 〒030-0861 青森市長島2-25-4 ☎017-721-3151
- 八戸支店 〒039-1166 八戸市根城5-5-27 青森放送八戸支社3F ☎0178-43-8610
- アフラックサービスショップ八戸下長店 〒039-1164 八戸市下長1-6-20 ☎0178-21-1730
- 弘前支店 〒036-8355 弘前市元寺町25-1 青森放送弘前支社1F ☎0172-35-1881
- むつ支店 〒035-0033 むつ市横町2-16-8 ☎0175-33-8215

<引受保険会社>

「生きる」を創る。 **アフラック**
 青森支社
 〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビルディング9階
 Tel.017-777-0963 Fax.017-777-0942

AFツール-2020-0349-2109004 11月10日



日常生活自立支援事業
生活支援員に
なりませんか?

判断能力が不十分な方を支援

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち、判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うものです。

青森県では平成11年10月から事業が実施され、契約者は毎年増え続けており、令和3年12月末現在の累計は約2500人を超え、実利用者数は約680人となっています。

日常生活自立支援事業の援助内容

- ①福祉サービスの利用援助
 - ・様々な福祉サービスの利用に関する情報提供、相談
- ②日常的金銭管理サービス
 - ・福祉サービスの利用料金の支払い手続き
 - ・福祉サービスの利用に伴う預貯金の出し入れ等の日常的金銭管理支援
- ③書類等預かりサービス
 - ・通帳や印鑑等のお預かり
 - ※預かり不可のものもあります。

※②、③のみの利用はできません。

生活支援員を募集中

生活支援員とは、本事業において契約時に作成する支援計画に基づき、利用者の意思に沿って、日常生活に必要な左記のような援助を行う、地域の協力者です。

具体的な援助内容(一例)

⑤	社協への報告 (利用者の状況 希望 援助内容等)
④	福祉サービス連絡調整 (各関係機関、行政等)
③	各種支払い (公共料金、病院代等)
②	コミュニケーション (相談、助言、情報提供等)
①	自宅(施設)訪問 (体調・生活状況等確認)

生活支援員は利用者の金銭や個人情報を取扱うため、利用者との信頼関係が重要となります。今後多くの地域で利用者の増加が予想されており、県内各地域で生活支援員を募集中です。生活支援員に興味のある方は、ぜひお住いの市町村社協へお問い合わせください。



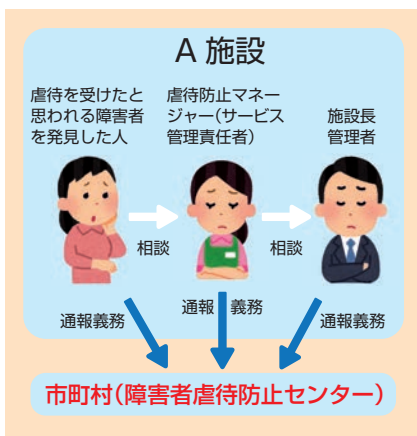
- 生活支援員の活動
- 月数回から
 - 毎回1時間程度
 - 社協職員がサポート
 - 資格等は特に必要なし

【事業に係る問合せ】 地域福祉課
電話：017-721-1362

障害者権利擁護センター
みんなで防ごう
障害者虐待!

障害者虐待を防止するには 早期発見・早期対応が重要です

障害者に対する虐待は障害者の尊厳を害するものであり、本人の自立及び社会参加にとって虐待を防止することは極めて重要です。「障害者虐待防止法」では障害者に対する虐待を発見した者は、市町村等に通報することが義務づけられています。障害者虐待と思われる事柄を見聞きしたら、市町村等の窓口にご相談ください。



障害者虐待は重大な権利侵害です

虐待は、特定の人や施設等で起こるものではなく、どこでも起こりうる身近な問題です。

養護者、使用者等の本人には虐待しているという認識がない場合があ

り、また、虐待を受けている障害者自身も虐待だと認識できない、被害を訴えられない場合もあります。虐待を防ぐには、私たち一人ひとりが障害者虐待に対する意識を深め、小さな兆候を見逃さず、虐待の芽に早く気付くことが大切です。

虐待の状況	養護者	障害者福祉施設従事者等
相談・通報・届出数	27件(45件)	22件(26件)
虐待と認められた数	7件(20件)	10件(10件)

※R1/4/1～R2/3/31の受付件数及び虐待と認められた件数(括弧内は昨年度の結果)

- 被虐待者の障害種別(重複あり)
身体的障害者：2人、知的障害者：9人、
精神障害者：8人
- 虐待行為の種類
身体的虐待：11件、心理的虐待：5件、
性的虐待：1件

※「令和元年度障害者虐待防止、障害者に対する支援等に関する調査結果(青森県の状況)」より

障害者虐待防止研修会の動画を配信

本センターでは、障害者虐待防止の理解や障害者の権利擁護意識を深めるための研修会を実施しています。令和4年3月1日～21日まで、「令和3年度青森県障害者虐待防止・権利擁護研修会」の動画を関係者向けに配信します。また、施設・事業所等での職場内研修会へ講師派遣を行っていますのでご利用ください。

【問合せ】 障害者権利擁護センター
電話：017-721-1206



保育のお仕事をお探しの方必見！ 保育のお仕事出張相談会 3月開催

青森県保育士・保育所支援センターでは、保育分野に関する就職相談及び求人情報を提供するため、出張相談会を定期的に開催しています。

3月は左記のとおり県内各地域で開催しますので、ぜひお近くの会場にご来場ください。来場できない方は、オンラインによる相談も受付していますので、ご利用ください。



保育のお仕事出張相談会 Part 4
参加費無料。事前申込不要。直接会場へお越しください。
【開催時間】 10時から13時まで

期 日	地域・会場
3月2日(水)	八戸市・ラピア
3月4日(金)	おいらせ町・イオン下田
3月8日(火)	青森市・イトーヨーカドー
3月15日(火)	五所川原市・エルム
3月の毎週木曜日 (31日を除く)	県内全域・オンライン(Zoom) ※要事前予約

★3月は新年度に向けて新規求人が増加します★

【問合せ先】

青森県保育士・保育所支援センター
電話：017-718-2225

介護ロボットセミナー 全国23都府県から100名参加！

介護ロボットやICTなど、現場にテクノロジーを取り入れる動きが加速する中、介護ロボット等の最新動向や効果的な活用方法の理解を深めるために「あおもり介護ロボット・ICT活用促進セミナー」を開催しました。感染症防止のためオンラインでの開催でしたが、オンラインならではの利点を生かし、全国23都府県から約100名が参加し、関心の高さがうかがえました。

セミナー内容を一部紹介

- 国・県の行政説明のほか、県内外の先進的取組み事例や最新機器の紹介などを行い、質疑も活発に行われました！
- 県社協に設置している「介護ロボット相談窓口」の利用状況や展示場の様子を動画で紹介しました！

県社協では、こうしたセミナーの開催など、現場に役立つテクノロジー情報を今後も皆様にお届けしていきます。

【問合せ先】福祉人材課

電話：017-777-0012

令和3年度福祉職員キャリアパス 対応生涯研修終了！来年度も開催

青森県福祉人材センターでは、福祉職員のキャリアに応じた階層別研修を開催しました。今年度は感染症防止のためオンラインで開催し、講義のほか、Zoomのブレイクアウトルーム機能を活用した4～5人でのグループ演習も行いました。

受講者からは、「Zoomでの受講は初めてでしたが、他事業所の取り組みを聞き、情報交換ができ、充実した研修となった」などの意見があり、集合型研修さながらに習得度の高い研修となりました。

本研修は、令和4年度も開催しますので、ぜひ受講を検討ください。

福祉職員キャリアパス対応生涯研修（階層別研修）の種類

初任者コース (入職後3年以内の職員等)
中堅職員コース (入職後3～5年以内の職員等)
チームリーダーコース (主任・係長等)
管理職員コース (管理者・指導的立場の職員等)

※全国社会福祉協議会が開発

【問合せ先】青森県福祉人材センター

電話：017-777-0012

知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
 - 就業に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー 青森支店
〒030-0823 青森県青森市橋本2-13-5
青森大同生命ビル1F
TEL: 017-721-6460 FAX: 017-722-3018
受付時間：午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。
特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約特約

病気やケガで入院したとき
入院給付金

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

病気で死亡したとき
疾病葬儀費用保険金

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償 ※プランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき
職業従事者事故対応費用補償 ※プランによって補償します

保険のお問合せはこちら

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
https://www.aig.co.jp/sonpo
八戸支店
〒031-0032 青森県八戸市三日町2 青銀・明治安田ビル4F
TEL: 0178-24-1271
受付時間：午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

青森県知的障害児者生活サポート協会
〒030-0822 青森市中央三丁目20番30号
県民福祉プラザ2階 (青森県社会福祉協議会内)
TEL: 017-723-1391 FAX: 017-723-1394

2020年12月現在の内容です。(D-004960 2022-03)

みなさまの善意に感謝！

(令和3年10月～令和3年12月)

■青森県社会福祉協議会への寄附(敬称略)

寄附金

・公認会計士・税理士 小野寺高事務所	40,407円
・みちのく銀行古川支店グリーンクラブ	34,261円
・富士電機株式会社 J-MOXゴルフコンペ	46,000円
・ジブラルタ生命保険株式会社	110,770円
・匿名希望(2名)	310,000円

■青森県善意銀行への預託(敬称略)

・青森県原子力関係労組懇話会	図書カード	45枚
・生命保険協会青森県協会	車椅子	15台
・青森市民大学院中央校	フェイスタオル	38枚
・株式会社トヨタレンタリース青森	車椅子	18台
・青森県火災共済協同組合	車椅子	6台
・青森県信用組合	未使用切手	163枚
	使用済み切手	3.2kg
	未使用はがき	136枚
	未使用テレホンカード	2枚

■青森県善意銀行(フードバンク)への預託(敬称略)

・正覚寺	水	180本
	水500ml	72本
	災害用非常食	444食
・有限会社中里エアサービス	お米	360kg
・匿名希望	白米	60kg
・匿名希望	各種農産物	

県社協から

いただいたご意見にお答えします！

いつもFAXやHPから広報紙へのアンケートへ回答いただきありがとうございます。

今回は、ご意見が多かった「コロナ禍でも楽しめるレクリエーションを知りたい」にお答えして、公益財団法人日本レクリエーション協会HPのレクリエーション検索ツール「レクぼ」をご紹介します。

「レクぼ」ならレクリエーションが検索できる！

「レクぼ」には、子ども向けから高齢者向けまで、さまざまなレクリエーションが紹介されています。室内あそび、介護予防、クラフトのほか、〈三密避けVer.〉も紹介され、コロナ禍でも楽しめます！ぜひ一度ご覧ください。



お知らせ

「福祉のひろば」へのご意見募集中！

県社協HPの入力フォームから回答可能です！各記事への感想や今後掲載してほしいことなど、お気軽にお寄せください！

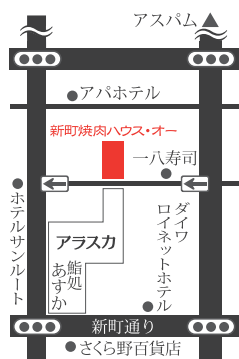


【県社協HP】



新町焼肉ハウス・オー

- 営業時間 / 17:00～23:00
- 定休日 / 毎週水曜日
- 個室・カウンター全32席 (個室最大18席)
- 駐車場あり(アラスカ駐車場)



青森市新町1丁目10-15
TEL 017-723-2298

価値観も、生き方も、 広がる時代に。



さまざまな「不安」や「リスク」に対し最適な保険をご提案いたします。

MS&AD インシュアランスグループ MS東北株式会社

【青森支店】〒030-0823 青森市橋本2-19-3 三井住友海上青森ビル4階 TEL: 017-718-5559
【八戸支店】〒031-0081 八戸市柏崎1-11-18 シエナビル4階 TEL: 0178-43-3351
【むつ支店】〒035-0071 むつ市小川町2-11-29 東信ビル TEL: 0175-33-0291

青森県火災共済協同組合

福祉に関わる皆様へ
暮らしのなかにある
さまざまな「もしも」を
しっかりサポート
いたします！

いつものように
いつまでも

NEW!
地震危険補償特約



火災共済 自動車共済 医療総合保障共済

青森市新町2丁目 8-26 TEL 017-777-8111(青森本部)



ACS 株式会社 青森電子計算センター

■本社 / 青森市大字三内丸山393-270 (西部工業団地内) TEL 017-761-5300
■八戸支店 ■東京支店 ■弘前営業所